

---

---

## コーディネーター・座長紹介

大阪大学 本部事務機構・産業科学研究所  
理事・副学長・教授兼務 **中谷 和彦** (なかに かずひこ)

---

---

住 所：〒 567-0047 吹田市山田丘 1-1

### 学歴・職歴：

昭和57年 3月 大阪市立大学理学部化学科 卒業  
昭和59年 3月 大阪市立大学理学研究科化学専攻前期博士課程 修了  
昭和59年 4月 同 後期博士課程 進学  
昭和60年 3月 (大阪市立大学理学研究科化学専攻後期博士課程在学中)  
～昭和63年 3月 米国コロンビア大学化学科研究員  
昭和62年 3月 大阪市立大学 指導認定退学  
昭和63年 4月 財団法人相模中央化学研究所 博士研究員  
昭和63年 6月 理学博士 (大阪市立大学)  
平成 3年 4月 大阪市立大学理学部 助手  
平成 5年 4月 京都大学工学研究科合成・生物化学専攻 助手  
平成 9年 4月 同 助教授  
平成17年 4月～ 大阪大学 産業科学研究所 教授  
平成27年 8月～平成30年3月 産業科学研究所 所長  
平成31年 8月～ 大阪大学 理事 (財務・施設担当)・副学長

### 学 位：

昭和63年 6月 理学博士 (大阪市立大学)

### 所 属 学 会：

日本化学会、  
有機合成化学協会、  
日本核酸化学会、  
日本ケミカルバイオロジー学会

専 門 分 野：有機合成化学、遺伝子科学

### 受 賞 歴：

昭和59年12月 第13回 有機合成化学協会奨励賞  
平成17年11月 第19回 日本IBM科学賞  
平成20年 3月 第25回 日本化学会学術賞  
平成20年 4月 第40回 市村学術賞貢献賞  
平成20年11月 第26回 大阪科学賞

## 千里ライフサイエンスセミナー T1

### 『RNA 創薬の最前線』

#### 開催の趣旨

ヒトゲノムの解析終了後の ENCODE プロジェクトの結果、ヒトゲノムの大半は非翻訳 RNA (non-coding RNA, ncRNA) として、我々の生命維持に関わっていることがわかっている。従来の創薬標的であるタンパク質に加えて、ncRNA が新しい創薬の標的と認識されるに至った。一方、アミノ酸で構成されるタンパク質と比べてヌクレオチドから構成される RNA は、構造の多様性と柔軟性、電荷や水素結合基の分布、構造形成の原動力が大きく異なり、従来の創薬研究手法の適不適の判断、RNA 標的創薬研究に新たに必要になる研究手法の開発など、RNA 標的創薬研究の基盤となる技術の確立が喫緊の課題となっている。

本セミナーでは、RNA 標的創薬研究を進める上で欠かすことができない RNA の生物学、RNA に結合する低分子創成、RNA のバイオインフォマティクスに関する講演とともに、国内外の RNA 標的創薬研究のトップランナーから、最新の情報をご提供いただき、我が国の RNA 標的創薬研究の加速に少しでもお役に立てていただきたい。